

このたびは、カツミのELE-KEY® (エレ・キー) EK-150型を、お買い上げくださいます。ありがとうございます。

我国で最初にエレ・キーを製品化し、エレ・キーの研究開発・製造に永年の伝統をもつカツミは、普及型から高級型にいたるまで数多くのエレ・キーを発表してきました。この製品カツミEK-150型は、前回発表し好評発売中の高級エレ・キーEK-127型を、さらにグレード・アップし、スクイズ用エレ・キーのコンポ・タイプとして特に高級型を目標に設計したので、プロ級からアマチュア無線まで幅広くご愛用いただけるエレ・キーと思います。(®: ELE-KEYは株式会社カツミ電機の登録商標です)

A. 特 長

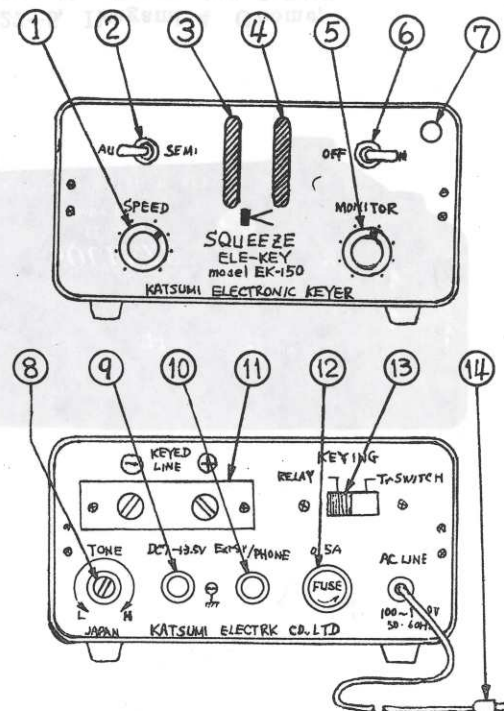
- エレ・キーの心臓部にあたる電子回路にプラグイン・ユニットを採用しましたので回路点検・修理に便利です。
- スクイズ (IAMBIC) 操作用マニピレーター内蔵、短点・長音、両メモリーがついており、大変操作のしやすいスクイズ用エレ・キーです。
- 大容量のトランジスター・スイッチ (2SB546) を採用のため、DC150V-2Aまでキーイングできます。また、スイッチの切換で内蔵のリレーを動かさせると最高700V-0.5Aまでキーイングでき、あらゆる無線機を動作させることができます。
- スwitchの切換で、半自動 (SEMI) /全自動 (AUTO) になります。
- モニターが内蔵されておりますので、ご自分の符号をモニターできます。
- 外部電源端子がついておりますので、AC100VのほかDC7~13.5Vで動作させることができますので、モビルで運用できます。
- 出力回路および電源回路にRF廻り込み防止フィルターがついておりますので、常に安定した動作が望めます。

B. 使用 方法

- (1) 送信機のキーイング回路電圧・電流をテスターでチェックしてください。EK-150型のトランジスター・スイッチは最高電圧DC150V、最大電流DC2Aまでキーイングできるため、特殊なものを除きほとんどのメーカーの送信機を動作させることができますが、キーイング電圧が150V以上のときはスイッチ⑬を、RELAY (リレー) 側に切換えてご使用ください (C. ご注意の項ご参照)。
- (2) 送信機のキーイング回路の接続は、裏面パネルのターミナル⑪へ、⊕⊖の極性にご注意して接続してください。トランジスター・スイッチを保護するために、逆接続防止回路になっておりますので逆に接続すると電波が出っぱなしになります。
- (3) ACプラグ⑭を電灯線AC100~120V電源コンセントに差し込んでください。POWERスイッチ⑥をONにするとパイロット・ランプ⑦が点灯します。(スイッチ②のON-OFF時に不要符号が出ますが、これはON-OFFのショックでメモリー回路が働らくもので本機の故障ではありません)
- (4) マニピレーターのキーレバー③または④を内側へ押してください。短点または長音が連続して打ち出されますので、これら短点・長音を組合せて符号を作成してください。
- (5) キーイング・スピードの調整は①のつまみで行ってください。毎分30~150字連続可変できます。つまみを右へ廻わすと早くなります。
- (6) モニターの音量調整はつまみ⑤です。右へ廻わすと音が大きくなります。モニター発振音の発振周波数は、TONE⑧で可変できます。Lの方向へ廻わすと低くなり、Hの方向へ廻わすと高くなります。
- (7) スwitch②はAUTO=エレ・キー、SEMI=バグ・キーになる切換スイッチです。送信機のTUNEはSEMIにしてキー④を押して行ってください。
- (8) モビルや野外移動で、外部電源電源をご使用になるときは、ジャック⑨へ付属品のプラグを使って接続してください。DC7~13.5Vの範囲の電圧で動作します。極性はマイナス・アースです。
- (9) 外部スピーカーまたはイヤホンご使用のときは、ジャック⑩へ付属品のプラグを使って接続してください。

C. ご 注 意

EK-150型はトランジスター・スイッチを採用していますので、応答速度が速い、キックリクがない、音がしない、寿命が半永久的、低消費電力、高信頼度と数多くの優れた特長を持っていますが、トランジスター・スイッチを使用する場合、使用者 (ユーザー) として必ず守らなければならない条件があります。それはスイッチング用トランジスター (2SB546) の最大規格を越えて使用しては絶対にいけません。すなわちDC150V-2A以下で使用するということです (①の電圧・電流チェック)。この条件以上で使用すると2SB546が破損してしまいますので、このときはスイッチ⑬をRELAY側に切換えてリレー・キーイングでご使用ください。内蔵のリレーは700V-0.5Aまでキーイングできます。



INSTALLATION INSTRUCTION

FEATURES

The ELE-KEY model EK-150 itself forms the dots, dashes and spaces in the precise ratio required for perfect code, at any speed desired by the operator.

Plug-in unit P.C.B. and solid-state circuitry.

Squeeze (IAMBIC) sending with full dot and dash memories.

Built-in sidetone with tone and volume control, switch for SEMI (BUG) / AUTO. Built-in speaker, headphone jack.

Heavy duty transistor switch (2SB546) for 150V, 2Amp.DC. and with a built-in high speed plate relay for Max. 700V, 500 mA any transmitter keying.

Operates on AC100-120V/50-60Hz or DC7-13.5V.

OPERATION

- (1) Check polarity and the required keying voltage and current on your transmitter key terminals, using a tester (voltage-milliammeter) the key-up (open circuit) voltage must not be in excess of 150 volts D.C., and the key-down (closed circuit) current must not be in excess of 2 amperes (2000 mA).
- (2) Connect the keyed line (output) ⑪ on the rear panel terminal ⊕ to the POSITIVE keying terminal of the transmitter, and the ⊖ to the NEGATIVE terminal, as previously determined by voltmeter test in (1).
- (3) Plug in the power cord ⑭ to the 100 to 120 volts, 50 to 60 Hz alternating current supply. Set the power switch ② to the ON position. The pilot lamp ⑦ should light.
- (4) Moving the dual key levers to the dot position (push to right for left key lever) should result in dots being heard from the speaker and moving the dual key lever to the dash position (push to left for right key lever) should produce dashes.
- (5) Turn the speed control knob ① to the desired, which may be instantly adjusted within the ranges of 8 to 60 W.P.M.
- (6) The monitor knob ⑤ control the volume of the speaker and head phone ⑩. Adjustable tone control ⑧ (tone L: low, H: high).
- (7) The switch ② on the AUTO position is normal use automatic dot-automatic dash. The SEMI position is automatic dot-manual dash alternate use and transmitter tune.
- (8) Sit back and relax, with the satisfaction that you now have the EK-150 for sending the finest CW, and with the closest approach possible to precise machine tape sending.

SPECIAL CONDITIONS

When the voltages and currents are greater than the values recommended in (1) above, various arrangements may be employed.

Generally, transmitters utilizing high voltage cathode keying will exceed the voltage values given above. These transmitters may be operated by using a built-in relay (Set the KEYING Switch ⑬ to RELAY position). Relay keying output is Max. voltage open circuit 700V, Max. current 500 mA.